

法政大学大原社会問題研究所

# 所 報

(2015.11.1 ~ 11.30)

## □刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』686号 (2015年12月)

## □図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	0	5	5
受 贈	0	0	0
合 計	0	5	5

## □閲覧サービス

### 閲覧

開館日数 23日

閲覧人員 10名

貸出図書 4冊

### コピーサービス

学外 15件 1010枚

学内 1件 85枚

## 日 誌

- 2日 労働科学研究所訪問 (金子, 立本, 榎)
- 4日 資料受贈: 暉峻義等関係資料 (前回 (7月15日 到着) 資料の追加分, 寄贈者: 北島洋樹氏 (公益財団法人 労働科学研究所 副所長), 37箱) 事務会議  
入力マニュアル検討会議
- 6日 法政大学ミュージアム検討委員会 (榎)
- 7日 資料受贈: 小森恵関係資料 (寄贈者: 吉田恵氏 (小森恵氏令嬢), 段ボール48箱)
- 10日 100年史編纂委員会
- 11日 社会問題史研究会  
大原社会政策研究会 (第16回)  
畠中亨「社会政策と「保険」の関わり—長沼 建一郎著『個人年金保険の研究』(法律文化社, 2015年)を読む」
- 13日 見学: 広田照幸氏 (日本大学) ほか3名 (対応: 金子)

## 18日 運営委員会

議題①次期所長・副所長の選任

②名誉教授の推薦手続き

③客員研究員の承認

④その他

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

写真展 赤城修司「Fukushima Traces」公開開始

(於: 多摩キャンパス図書館2階エントランス, ~12/2)

研究所に対するヒアリング調査 (法政大学ミュージアム (仮称) 検討委員会)

## 24日 見学: 北ヨーロッパ学会会員2名 (対応: 藤原)

## 25日 研究員会議

事務会議

月例研究会

榎一江「ハワイ大学マノア校での一年間を振り返って—2014年度在外研究報告」

## 26日 労働資料協第30回総会記念シンポジウム

共催: 法政大学大原社会問題研究所, 社会・労働関係資料センター連絡協議会 (労働資料協)

「社会労働資料活用の可能性と未来」

基調講演: 熊沢誠 (甲南大学名誉教授)「私の労働研究とアーカイブズ」

パネル・ディスカッション: (登壇者: 熊沢誠,

梅崎修, 平野泉, 榎一江, 篠田徹, コーディネーター: 鈴木玲)「社会労働資料活用の可能性と未来」(司会: 藤原千沙, 於: 多摩キャンパス

百周年記念館, 参加者: 82名)

27日 見学: 労働資料協

## 28日 大原孫三郎・總一郎研究会 (第4回) (主催: 公益財団法人有隣会, 於: 倉敷, 出張: 原, 橋本)

報告: 橋本美由紀「岡山県の家族介護者の介護時間と生活時間—大原孫三郎の病院創設への思いと現在, 医療福祉相談室の資料分析をふまえて」

大原社会問題研究所雑誌

No.689 (2016年3月号)

2016年3月1日発行

定価1,000円 (本体926円), 年間購読料12,000円

編集 (兼) 発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 藤原千沙

所 長 原 伸子

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

電話 042 (783) 2305